

ボウリング 杉並のボウリング伝説から現在まで



かつて'70年代に一大ブームとなったボウリングは老若男女誰でも気軽に楽しめるスポーツの代表格。忘れていた記憶とともにアタマとカラダを呼び覚まそう。今こそ“昔取ったきねづか”を發揮するチャンス!

日本は世界2位のボウリング大国

世界一のボウリング大国は近代ボウリング発祥のアメリカである。1993年のデータによるとボウリング場のレーン数はアメリカで142,460基。日本は30,340基で第2位。3位は韓国の12,150基。4位は台湾の6,970基。4位以下のヨーロッパ諸国と大きく水をあけている。(資料提供 日本ボウリング場協会)

日本のボウリングの発祥は長崎の出島



幕末の1861年(文久元年)6月22日、長崎出島近くの外国人居留地で発行された英字新聞にボウリングレーン付の社交サロンの開店を告げる広告が掲載された。昭和39年のジャパンタイムス紙で幕末明治期の英字新聞広告記事が特集されたとき発見され、以降6月22日は「ボウリングの日」と制定された。(資料提供 日本ボウリング場協会)

ボウリングの歴史



ボールを目標のピンめがけて転がすボウリングの起源は古く、紀元前5200年の古代エジプトの子供の墓で3本の大理石のピンと石のボールが発見されている。紀元前2000年頃のギリシャ人やローマ人もボウリングを楽しんだと言われている。

2～3世紀のドイツでは教会の回廊などを使い屋内型のゲームも盛んになった。13～14世紀になると9ピンのボウリングが行われるようになりドイツの宗教学者の統一ルールを作った。9ピンボウリングはやがてアメリカに渡るが、賭け事の対象に使われたため1841年禁止令が出る。1875年ルール改正し10ピンでやるボウリングが生まれ、近代ボウリングの歴史が始まった。(資料提供 日本ボウリング場協会)

基本ルール(10ピン)

ご存じない方も多いこのボランティア制度だが、後継者不足や農業者の高齢化などによる担い手を支援する目的で昭和60年から開始し、これまでに58名が研修(区の農業ボランティア養成講習会または都の援農技術習得講座)を修了し登録している。

現在農家の専門性が高まり、経験、知識、技能などを総合すると、なかなかボランティアスタッフが農家の右腕となることが難しく手伝いたいボランティアと、手伝って欲しい農家とのバランスは必ずしも見合わない実情があり現在活躍中のボランティアは限られていaボウリングは1ゲーム10ラウンドで倒したピンの数の得点で競われる。すべてストライクのパーフェクトゲームで300点。第1投でストライクを出せば次のラウンドの得点は倒した数の2倍、2投目でスベアをとれば次のラウンドで倒した数が増える。10ラウンド目で10ピンを倒した際はもう1投できる。せっかく得た知識を何とか活かそうと地方の農家支援を行っているボランティアもいるそうだ。現在もこの登録制度はあるが、あらたな登録受付は行っていない。

ボウリングの上部団体

ボウリング場のことなら日本ボウリング場協会<http://www.bowling.or.jp/index.html>

プロボウラーのことなら日本プロボウリング協会

<http://www.jpba.or.jp/>

女子ボウリングのことならジャパンレディーズボウリングクラブ

<http://www.jlbc-home.com/>

公式競技場とは

ボウリング場は日本ボウリング場協会に加盟し公式大会などを行う「公認競技場」とレジャー中心の非加盟店がある

スターボウリング

日本テレビ放送網で1970年代に放送されていたボウリング番組。ボウリング・ブームの象徴的番組

現在日本テレビでは女子プロボウリング「P★LEAGUE」を放送中

詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.p-league.jp/>

ボウリングシャツって?

アメリカの黄金時代といわれる1950年に大流行したボウリングシャツはアメリカンカジュアルの代表格。特徴はレーヨン素材でオープンカラー、胸ポケット、挿し色の入った2本のプリーツに背中刺繍。

新時代のボウリング場

ボウリングはいつも脇のガターに落ちてしまうと悩みのあなたはガターレスボウリングはいかが? スタッフに声をかけて溝にバンパーを設置してもらえば0点なんて憂き目もなし! (詳しくは各店舗へ)

近年ではブラックライトのフロアで、蛍光塗料を塗られた光るボウルで楽しむレーンも登場。